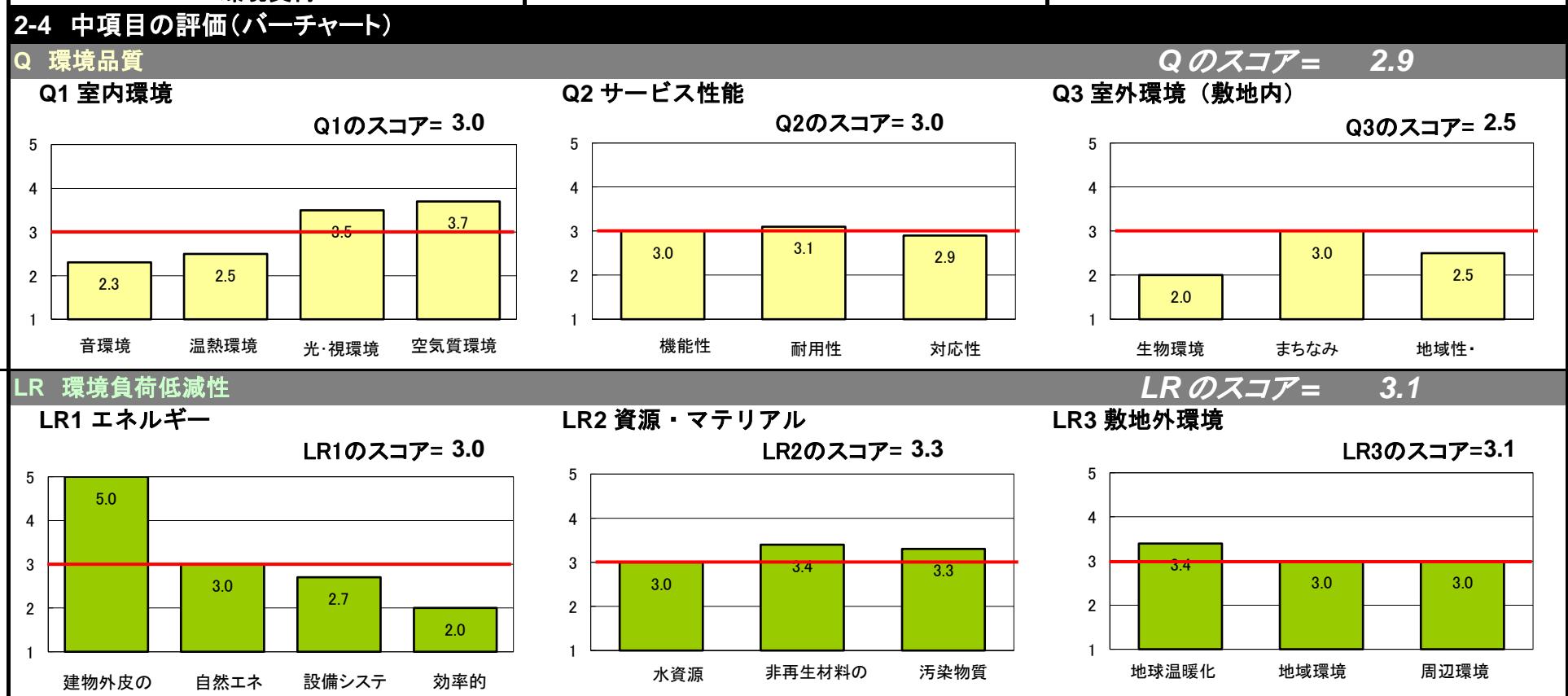
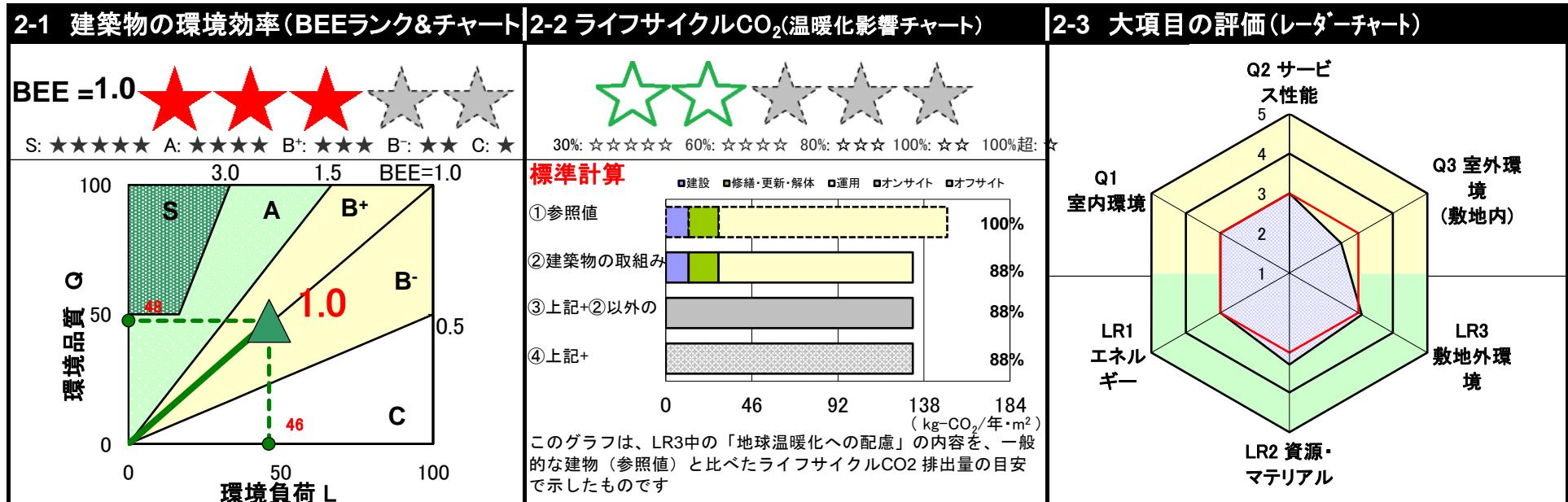


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)埼玉県三芳町大字藤久保字東新築工事	階数	地上3F
建設地	埼玉県入間郡三芳町大字藤久保字東760-1	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用、防火指定なし	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年8月26日
敷地面積	3,631 m ²	作成者	株式会社悠建築事務所
建築面積	1,024 m ²	確認日	2025年8月26日
延床面積	2,664 m ²	確認者	株式会社悠建築事務所



CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)埼玉県三芳町大字藤久保字東新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
配慮項目	評価点						
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境			2.3	0.15	2.2	1.00	2.3
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音			2.4	0.40	2.2	0.40	
1 開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			2.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	4.0	0.20	
1.3 吸音			1.0	0.20	1.0	0.20	
2 溫熱環境			2.3	0.35	2.8	1.00	2.5
2.1 室温制御			2.5	0.50	3.4	0.50	
1 室温			3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		断熱材を強化し、外皮性能を上げている	4.0	0.25	4.0	0.43	
3 ゾーン別制御性			1.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御			1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境			3.3	0.25	3.6	1.00	3.5
3.1 昼光利用			4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		共) 昼光率: 2.5%以上、宿) 昼光率: 1.25%以上	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口			-	-	-	-	
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			3.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御		カーテンと庇(バルコニー)を組み合わせて制御	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境			3.6	0.25	3.8	1.00	3.7
4.1 発生源対策			4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気			2.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量		宿) 居室4: 1.4倍以上	3.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		宿) 居室4: 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上	-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2 喫煙の制御		全館禁煙としている	5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.0
1 機能性			2.4	0.40	3.8	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		宿) 個室10m ² /床以上	-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応			-	-	-	-	
3 パリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観			-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3 内装計画			1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.4	0.30	-	-	
1 軀体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		宿) 床: 塩ビシート20年、壁: ビニルクロス20年、天井: クロス30年	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA	4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				3.2	0.30	2.6	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		共)、宿)壁長さ比率0.1以上0.3未満	2.2	0.30	2.2	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	診)2900N/m ² 、待)3500m ² /床、按分にてレベル4		1.0	0.60	1.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.40	4.0	0.40	
3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	ケーブルラック、保護管使用	4.0	0.30	3.0	0.50		
	2 給排水管の更新性	ケーブルラック、保護管使用	3.4	0.40	-	-		
	3 電気配線の更新性			3.0	0.20	-	-	
	4 通信配線の更新性			3.0	0.20	-	-	
	5 設備機器の更新性			5.0	0.10	-	-	
	6 バックアップスペースの確保			5.0	0.10	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				3.0	0.20	-	-	
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.20	-	-	2.5
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.40	-	-	3.0
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.5	0.30	-	-	2.5
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.73			5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.85			2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価	4.1 モニタリング			2.0	1.00	-	-	
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価	4.1 モニタリング			1.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.60	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	内装が乾式工法で分別が容易、OAフロアを採用			5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避	1 消火剤			3.5	0.70	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を使用		-	-	-	-	
	3 冷媒			4.0	0.50	-	-	
				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出量を参照値より抑制		3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
	2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性にも配慮、管理用車両の駐車施設を確保、複数の出入り口を設置		5.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1 騒音			3.0	0.40	-	-	
	2 振動			3.0	1.00	-	-	
	3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制	1 風害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	2 砂塵の抑制			3.0	0.70	-	-	
	3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.20	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.70	-	-	
				3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称

(仮称)埼玉県三芳町大字藤久保

BEE

1.0

BEEランク

★★★

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア 緑の保全・創出のスコア

3.4

+

2.6

=

6.0



重点項目の各スコアの合計点

がんばろう
6.0未満



良い
6.0以上



非常によい
6.8以上



すばらしい
8.0以上



3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.4

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策

1. 地球温暖化への配慮

スコア 3.4

<配慮した内容を記述>

広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

(2) 緑の保全・創出

スコア平均 2.6

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)

1. 生物環境の保全と創出

スコア 2.0

Q3 室外環境(敷地内)

3. 2 敷地内温熱環境の向上

スコア 3.0

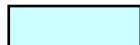
LR3 敷地外環境

2. 2 温熱環境悪化の改善

スコア 3.0

<配慮した内容を記述>

特になし



: 入力欄